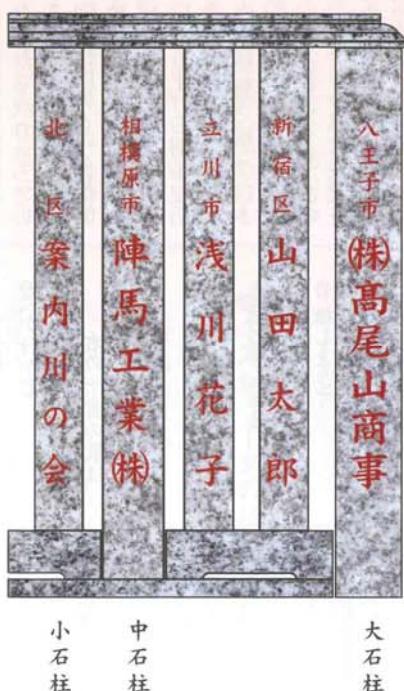


王垣刻銘予想因



大本山高尾山藥王院

*玉垣の奉納数には限りがござりますので、満数になり次第締め切らせて頂きます。
*御来山の折の御志納につきましては、御護摩受付所にて承っております。

尚、書留で御志納される場合は、必ず「高尾山浅間社改修事業志納金」と、お書きください。

玉垣の御奉納

外側刻銘

小石柱 八十二本
百十二本 金 金
十五万円也
十万円也

御礼と御報告
これまで御奉納を御願い致しておりますが、浅間社玉垣の大石柱と中石柱の御奉納につきまして、熱心なる信心のおおかげをもちまして満数に達しましたことに對し、御礼と御報告を申し上げます。
尚数に限りがある為、御奉納を受けることが出来ず、ご信徒様に大変ご迷惑をお掛け致しました事につきまして、心からお詫び申し上げる次第であります。

ご信徒の皆様におかれましては、御本尊飯縄大権現様の御加護に浴せられまして、日々ご清邁にお過ぎのこととお慶び申し上げます。

また平素は当山興隆のため、格別の御高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

さて、武州・甲州の乱国渦中の天文年間に、時の領主北条氏康により、高尾山浅間社が建立されて以来、当山は関東における富士信仰の新たな拠点となりました。平成十九年に再興された、「靈峰富士登拝修行」が昨年で第十箇度を数えるようになり、今なお富士科撒修行の拠点であり続けております。

しかしながら、建立以来修復を重ねて参りましたが、数多の月日を重ねたことで浅間社周辺の鳥居・玉垣の損傷いちじるしく、この度当山貫首により、改修事業が発願されました。

つきましては、全国有縁のご信徒の皆様におかれましては、この淨業に大いなるご理解と格別の御信助を賜りたく、茲に謹んでお願ひ申し上げます。

高尾山富士浅間社鳥居・玉垣改修事業
せんげんしゃのとりい・ぎょくがきかいしゅうじぎょう
淨財勸募のお願い